

日本看護歴史学会

第32回学術集会 講演集

ナイチンゲール看護のこころ今に伝える

—看護・福祉思想と教育—



平成30年8月24日(金)・25日(土)

広島文化学園大学 呉・阿賀キャンパス 看護学部

日本看護歴史学会

JAPAN SOCIETY OF NURSING HISTORY

日本看護歴史学会
第32回学術集会 講演集

ナイチンゲール看護のこころ今に伝える
—看護・福祉思想と教育—

平成30年 8月24日(金)・25日(土)
広島文化学園大学 呉・阿賀キャンパス 看護学部

日本看護歴史学会
JAPAN SOCIETY OF NURSING HISTORY

ご 挨拶

日本看護歴史学会第32回学術集会

学術集会長 佐々木 秀美

広島文化学園大学看護学部



第32回日本看護歴史学会学術集会を広島県呉市で開催いたします。

歴史研究は“古きを訪ねて新しきを知る”であります。つまり、現在の起こっていることの課題認識を解決あるいは未来に向かって何をなすべきかについて過去に遡って検証し、その答えを導き出すこと、すなわち、“温故知新”であります。

広島と言えば、平和記念公園内に戦争の傷跡として原爆ドームが厳然として残っており、核兵器被害の悲惨な体験をした歴史的な場所です。平成30年は戦後72周年です。戦争体験者も少なくなっている今日ですが、広島で日本看護歴史学会会員の皆様の歴史検証を通して、私たちの日常生活の安寧と幸福実現のために看護ができることは何かを、原点に戻って論じ合える機会になればと考えています。

会員の皆様にはフローレンス・ナイチンゲール研究で顕著なご功績を残され、また、現在も研究中の方々が多くおられます。その中で、誠にお恥ずかしい限りではございますが、私の精一杯のナイチンゲール研究を通して感じておりますナイチンゲールの看護のこころ、その心が看護界の隅々まで理解され、看護実践につながっているのかを問う機会あるいはご意見を頂く機会にできればと考え、本年度のメインテーマを「ナイチンゲール看護のこころ今に伝える 一看護・福祉思想と教育」としました。

教育講演には、ナイチンゲールが看護について学んだとされるドイツのカイゼルスウェルト学園の現在地に何度も足を運び、看護の歴史研究に貢献された真壁伍朗先生、福祉の立場からは、戦後、カイゼルスウェルト学園のディアコニッセ母の家の方式を導入し、福祉の発展に貢献した浜松聖隸の平井章先生、医療の立場からは、広島県における原爆医療の歴史の変遷を鎌田七男先生、そして教育界からは、科学者は歴史にどう責任を取るかについて、広島文化学園大学の小笠原道夫先生のご講演をしていただきます。

19世紀中庸、ナイチンゲールが創設した看護という仕事、粗悪であった病院看護を良くし、地域の貧しい方々への看護職の地域貢献は、地域の方々が“健康”で幸せに暮らすためのいわゆる地域福祉貢献活動でありました。そこで、教育講演と会員の皆様の多様な歴史研究を通しまして、今日、問われております医療・福祉・教育の協働という言葉の“究理実践”に向けての検証・検討の機会にし、活発な議論ができますことを切に希望しております。

場所は、広島文化学園大学呉阿賀キャンパスでの開催です。呉市は広島駅から呉線で45分のところに位置しております。少々、離れた地域での開催ではありますが、精いっぱい準備をしておりますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

目 次

参加者の皆様へ	10
発表者へのお知らせ	11
会場までのアクセス	13
会場案内図	14
学術集会プログラム	16

◆学術集会長講演（1日目 10:40～11:20 第1会場・3F・大講義室）	21
座長：川原 由佳里（日本赤十字看護大学）	

ナイチンゲール看護のこころ今に伝える —看護・福祉思想と教育—

佐々木 秀美（広島文化学園大学 看護学部・看護学研究科 教授）

◆教育講演

◇教育講演Ⅰ（1日目 11:25～12:25 第1会場・3F・大講義室）	25
座長：丸山 マサ美（九州大学大学院）	

看護の歴史パノラマから見えてくるもの —看護史の古いスライド(ICRC 作)を手がかりに—

眞壁 伍郎（新潟大学 名誉教授）

◇教育講演Ⅱ（1日目 13:20～14:20 第1会場・3F・大講義室）	27
座長：塩谷 久子（広島文化学園大学）	

長谷川保の看護・福祉思想とその精神の継承

平井 章（社会福祉法人 十字の園 理事長）

◇教育講演Ⅲ（1日目 14:30～15:30 第1会場・3F・大講義室）	30
座長：金子 潔子（健康科学大学）	

歴史と責任 —科学者・実践家は歴史にどう責任を取るか—

小笠原 道雄（広島文化学園大学教育学研究科 教授・広島大学 名誉教授・
ブラウンシュバイク工科大学 名誉哲学博士（Dr.Philosophie.h.c.））

- ◇**教育講演Ⅳ** (2日目 10:00～11:00 第1会場・3F・大講義室) 33
座長：藤村 龍子(東京慈恵会医科大学医学部看護学科 客員教授)

広島県における原爆医療の歴史的変遷

鎌田 七男(広島大学 名誉教授・被ばく高齢者事業団 元理事長)

◆理事会セッション

- ◇**理事会セッション1 研究活動委員会企画** (1日目 14:30～15:40 第3会場・2F・205講義室) 37

今、改めて看護歴史の研究方法を学ぶ(第4回)

看護思想史 —19世紀以降の科学・哲学・世界思想と看護学—

講 師：川原 由佳里(日本赤十字看護大学 准教授)

司 会：鈴木 紀子(順天堂大学 医学部 医史学研究室)

丸山 マサ美(九州大学大学院)

- ◇**理事会セッション2 特別委員会企画** (1日目 15:40～17:10 第1会場・3F・大講義室) 38

准看護師養成所における教育の現状 —調査報告—

話題提供者：伊東 美奈子(東京医療保健大学 医療保健学部)

司 会：城丸 瑞恵(札幌医科大学 保健医療学部)

佐藤 公美子(札幌医科大学 保健医療学部)

- ◇**理事会セッション3** (2日目 11:10～12:40 第1会場・3F・大講義室) 39

戦争と看護 —被爆の記憶を風化させないために—

話題提供者：岡田 恵美子

村上 須賀子(広島文化学園大学 人間健康学部)

司 会：川嶋 みどり(日本赤十字看護大学)

◆一般演題(口演)

- ◇**第1群** (1日目 14:30～15:30 第2会場・3F・301講義室) 座長：小田 正枝(徳島文理大学 名誉教授)

口演01 F. ナイチンゲールと愛蘭修道会・修道女のかかわり：そのⅠ 42
—Irish Sister of Charity & Sister of Mercy on the letters—

○細野 容子

口演02 フローレンス・ナイチンゲールの在宅看護理念より読み解く 44
—Science と Art の展望—

○小川 典子

順天堂大学保健看護学部在宅看護領域

- 口演03 明治期の正岡子規の療養生活を支えた要因 …………… 46
 — 仰臥漫録などの随筆を概観する —
 ○関永 信子¹⁾、廣田 美喜子²⁾
 1) 前大和大学 保健医療学部 看護学科、2) 大阪物療大学 保健医療学部 診療放射線技術学科

◇第2群 (1日目 14:30～15:30 第4会場・2F・201 講義室) 座長: 佐藤 敦子(広島文化学園大学)

- 口演04 残存している「出産のまじない文」に関する報告 …………… 48
 ○大村 倫子¹⁾、小柳 みな子²⁾、坂本 玄子³⁾
 1) 青森保健大学 健康科学部 看護学科、2) 国立病院機構 西新潟中央病院、3) 看護歴史研究会 元代表
- 口演05 タイ看護・助産教育の歴史と王朝との関わり(タイ看護教育史その1) …………… 50
 ○ハーディング 優子¹⁾、矢野 正子¹⁾、Supawadee Krua-chottikul²⁾
 1) 聖マリア学院大学大学院、2) タイ・セントルイス大学看護学部
- 口演06 教育制度に焦点をあてたタイ看護・助産教育発展の経緯 …………… 52
 (タイ看護教育史その2)
 ○矢野 正子¹⁾、ハーディング 優子¹⁾、Supawadee Krua-chottikul²⁾
 1) 聖マリア学院大学大学院、2) タイ・セントルイス大学看護学部

◇第3群 (1日目 15:40～16:40 第2会場・3F・301 講義室) 座長: 進藤 美樹(広島文化学園大学)

- 口演07 復刻版 雑誌『養護／学童養護』より学校看護婦の職務と …………… 54
 役割についての一考察 — 歯科保健活動に特化して —
 ○日下 純子
 公立小松大学保健医療学部看護学科
- 口演08 琉球大学保健学部の創設と看護教育に果たした役割: …………… 56
 その学際性とケアの通底性
 ○中村 哲
 広島文化学園大学看護学部看護学科
- 口演09 日本国憲法成立過程における生存権を基本としての社会福祉の由来 …………… 58
 ○榎 久仁裕、佐々木 秀美、加藤 重子、岡田 京子、石川 孝則
 広島文化学園大学看護学部

◇第4群 (2日目 10:00～11:00 第2会場・3F・301 講義室) 座長: 迫田 千加子(広島文化学園大学)

- 口演10 養護教諭と感染症対応 — 治療から予防教育・危機管理への変遷 — …………… 60
 ○上田 ゆかり、岡本 陽子
 広島文化学園大学看護学部看護学科 地域看護分野
- 口演11 現存するアタマジラミの歴史と看護師の役割 …………… 62
 ○進藤 美樹、藤尾 順子、山内 京子、宝田 慶子、香川 明花
 広島文化学園大学 看護学部看護学科

口演12	シェイクスピアの作品にみるナース	64
	○遠藤 花子	
	日本赤十字看護大学 看護学部	

◆一般演題(示説)

◇第1群 (1日目 13:10～14:25 第5会場・2F・実習室) 座長:岡本 陽子(広島文化学園大学)

示説01	PHW 看護課における養護教諭の職務内容に関する検討経緯	68
	○滝内 隆子、小松 妙子	
	金沢医科大学 看護学部 基礎看護学	
示説02	四日市公害下における子どもの健康課題に取り組んだ養護教諭の活動報告	70
	○岡本 陽子 ¹⁾ 、上田 ゆかり ¹⁾ 、高橋 登志枝 ¹⁾ 、永石 喜代子 ¹⁾ 、金澤 寛 ¹⁾ 、 吉田 順子 ²⁾	
	1)広島文化学園大学、2)藍野大学	
示説03	占領期における養護教諭の基礎資格に関する検討経緯	72
	—CIE・PHW 文書より—	
	○小松 妙子 ¹⁾ 、滝内 隆子 ²⁾	
	1)秀明大学看護学部、2)金沢医科大学看護学部	
示説04	スクールソーシャルワーカーの学校導入	74
	○碓石 裕子 ¹⁾ 、岡本 陽子 ²⁾	
	1)兵庫県川西市立緑台中学校、2)広島文化学園大学看護学部	

◇第2群 (1日目 13:10～14:25 第5会場・2F・実習室) 座長:田村 和恵(広島文化学園大学)

示説05	高等学校看護科の歴史	76
	—福山市立福山高等学校衛生看護科の歴史を中心に—	
	○岡 和子	
	福山平成大学看護学部看護学科	
示説06	岐阜県における看護教育の歴史	78
	—岐阜県厚生連第1准看護学院に焦点をあてて—	
	○木村 恵子、留田 由美、岡本 千尋	
	中部学院大学 看護リハビリテーション学部 看護学科	
示説07	ホスピス緩和ケア病棟に関する変遷	80
	○高橋 登志枝、岡本 陽子	
	広島文化学園大学 看護学部	
示説08	ナイチンゲールの看護を現代につなぐ聖隷看護史	82
	—看護師の手記より—	
	○風間 栄子、岡田 京子、今坂 鈴江、加藤 重子、佐々木 秀美	
	広島文化学園大学看護学部	

◇第3群 (1日目 13:10～14:25 第5会場・2F・実習室)

座長: 林 君江 (広島文化学園大学)

- 示説09 フィリピン国の看護教育の歴史における看護専門職の海外派遣とわが国のEPA看護師の現状 84
○岡田 京子、佐々木 秀美、加藤 重子
広島文化学園大学看護学部
- 示説10 ネパール高校生の生活と意識に関する調査研究 86
—日本の高校生との比較を通して—
○御村 ひさ子、岡本 陽子
広島文化学園大学大学院看護学研究科
- 示説11 発達障害児の保護者支援と養護教諭の役割 88
—障害者権利条約を受けて—
○吉田 順子¹⁾、岡本 陽子²⁾
1) 藍野大学 医療保健学部 看護学科、2) 広島文化学園大学
- 示説12 性的マイノリティの歴史的変遷と養護教諭の役割 90
○西村 眞佐乃¹⁾、岡本 陽子²⁾
1) 兵庫県美方郡新温泉町立浜坂中学校、2) 広島文化学園大学看護学部

◇第4群 (2日目 10:00～11:00 第3会場・2F・205講義室)

座長: 山内 京子 (広島文化学園大学)

- 示説13 保健師法案に名を連ねた弘前女子厚生専門学校 92
○山本 春江¹⁾、菊池 美智子²⁾、太田 尚子²⁾
1) 八戸学院大学 健康医療学部 看護学科、2) 青森中央学院大学 看護学部 看護学科
- 示説14 大正期の『東京産婆会々報』にみる産科医のまなざし 94
—前近代の助産方法や旧産婆に焦点をあてて—
○小川 景子
東海大学医療技術短期大学 看護学科
- 示説15 明治期における大阪府の産婆組合規定と産婆団体の成立 96
○阿部 奈緒美
奈良女子大学大学院 人間文化研究科 博士後期課程
- 示説16 母子健康センター事業の変遷から学ぶ母子保健の課題 98
—北海道B町の母子保健活動を中心に—
○須藤 桃代¹⁾、高橋 弘子¹⁾、鈴木 真理子²⁾
1) 北海道科学大学 保健医療学部 看護学科、2) 北海道美唄聖華高等学校

- 示説17 精神看護学の独立を振り返り見えてきたもの …………… 100
 —平成2年(1990年)精神保健から平成9年(1997年)精神看護学設置に
 焦点をあてて—
 ○高野 幸子¹⁾、榊 恵子²⁾
 1) 昭和大学 保健医療学部 看護学科 精神保健看護学、
 2) 神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 看護学科 精神看護学
- 示説18 「精神医療の歴史」受講が、看護学生の精神障害者のイメージに及ぼす影響 …… 102
 ○浅香 真由巳、佐藤 敦子、林 君江、加藤 重子
 広島文化学園大学 看護学部
- 示説19 看護史分野における、オーラルヒストリーを活用した研究文献の状況 …………… 104
 ○小野 桂¹⁾、川原 由佳里²⁾、川上 裕子³⁾、田中 幸子⁴⁾
 1) 神奈川県立川崎図書館、2) 日本赤十字看護大学看護学部、3) 亀田医療大学看護学部、
 4) 東京慈恵会医科大学医学部
- 示説20 『神奈川県統計書』にみる明治から昭和初期の看護婦 …………… 106
 —看護婦数・看護婦試験・看護婦養成所を中心に—
 ○小川 景子¹⁾、照川 眞木²⁾
 1) 東海大学医療技術短期大学 看護学科、2) 神奈川県立衛生看護専門学校 第一看護学科

- 示説21 今変わりゆく看護の姿 高度成長期以降の看護の発展と変遷 …………… 108
 ○上村 千鶴
 安田女子大学 看護学部看護学科
- 示説22 日本近代看護の先駆者大関和の思想的背景について …………… 110
 —様々な人との関わりにおいて—
 ○伊藤 ひかる、安達 寛人、後田 穰、田口 玲子
 新潟県立看護大学 地域生活看護学領域 精神看護学
- 示説23 看護補助者のルーツを探る —前身にみる活用の方向性— …………… 112
 ○程塚 京子
 国際医療福祉大学医療福祉学部
- 示説24 戦争に生きた731部隊の医師石井四郎に基づく人間観 …………… 114
 マズローの欲求階層とアギュララの危機回避過程からの考察
 ○石塚 睦子
 了徳寺大学 健康科学部 看護学科(基礎看護学)

◇第7群 (2日目 10:00～11:00 第5会場・2F・実習室)

座長:前信 由美(広島文化学園大学)

- 示説25 歴史的変遷にみるわが国の「看護教員の力量」の構造に関する予備的考察 …… 116
○田中 千尋
福岡女学院看護大学 看護学部 看護学科 基礎看護学領域
- 示説26 京都看病婦学校における明治34(1901)年頃の看護教育 …… 118
～同窓会誌「おとづれ」第1巻1号に掲載の学校摘要規則より～
○岡山 寧子
同志社女子大学看護部看護学科
- 示説27 戦後沖縄の看護の歴史に関する教育内容の精選と教材開発 …… 120
○石川 幸代¹⁾²⁾、嘉手苺 英子¹⁾²⁾
1)元沖縄県立看護大学 看護学部、2)元名城大学人間健康学部 看護学科
- 示説28 看護過程モデルの導入をめぐる看護基礎教育の歴史的考察 …… 122
○江頭 典江
京都学園大学 健康医療学部 看護学科

◇第8群 (2日目 10:00～11:00 第5会場・2F・実習室)

座長:三上 れつ(中部大学)

- 示説29 戦後、PHW サムス准将の公衆衛生改革 …… 124
○上野 理恵、佐々木 秀美、中村 哲
広島文化学園大学看護学部
- 示説30 広島原爆投下時の救護活動 ―救護体験者の証言から― …… 126
○岩本 由美
広島文化学園大学看護学部
- 示説31 日本における原爆投下後の健康被害調査の歴史と都築正男に関する研究 …… 128
○前信 由美、岩本 由美、田村 和恵、平岡 正史、高橋 登志枝、平光 修
広島文化学園大学看護学部 成人看護学領域
- 示説32 1950年～1954年のAnnual Report からみた原爆傷害調査委員会における
看護教育の内容 …… 130
○船木 沙織¹⁾、城丸 瑞恵²⁾
1)札幌医科大学大学院保健医療学研究科、2)札幌医科大学保健医療学部看護学科

示説33 我が国の医療・福祉政策の源流 — 憲法第25条成立の過程 …………… 132

○榎 久仁裕、佐々木 秀美、加藤 重子、岡田 京子

広島文化学園大学看護学部

示説34 看護テキストにおける感染看護の内容の変遷 …………… 134

○中井 芙美子

広島都市学園大学 健康科学部 看護学科

示説35 富士川游の説く「安心生活」に関する研究 …………… 136

○永石 喜代子、佐々木 秀美、岡本 陽子

広島文化学園大学看護学研究科

示説36 富士川 游に見る生と死 …………… 138

○田村 和恵、佐々木 秀美、迫田 千加子

広島文化学園大学看護学部看護学科

◇テーマセッション (1日目 15:40～17:10 第4会場・2F・201 講義室)…………… 143

直筆を通してこそわかるナイチンゲールの実像

— ナイチンゲールの8つの顔 —

話題提供者: 金井 一薫(徳島文理大学大学院)

司 会: 魚崎 須美(神戸常盤大学保健科学部)

日本看護歴史学会 大会・学術集会開催状況 …………… 144

第32回学術集会 企画委員・運営委員・実行委員名簿 …………… 146

日本看護歴史学会第32回学術集会 ご支援をいただいた企業・団体一覧 …………… 147

参加者の皆様へ

受 付

- 1) 参加受付は、両日とも9:30より、1号館 看護学科玄関受付で行います。
- 2) 事前に申し込みされている方は、郵送いたしました講演集・参加証兼領収書をご持参の上、「事前受付」にお越しください。
- 3) 当日に参加申し込みをされる方は、「当日受付」において参加費(会員8,000円、非会員9,000円、大学院生を除く学生500円)をお支払いの上、申し込みをしてください。学生の方は学生証の提示をお願いいたします。
- 4) 講演集の購入をご希望される方は、1冊1,000円で販売いたします。
- 5) 受付付近のテーブルに、紐付きネームプレートを用意いたしますので、ネームカードに氏名・所属をご記入の上、会場内では必ずネームプレートをつけてください。
- 6) 会場内での連絡、呼び出し等については、受付の掲示板をご利用ください。

クローク

1号館看護学科1階に、クロークを設置いたします。時間は、1日目(8月24日)9:30~17:30、2日目(8月25日)9:30~13:00です。お荷物は出来る限りまとめていただきますようご協力をお願いいたします。なお、貴重品・パソコン・傘・壊れもの・食品類はお預かりできませんのでご了承くださいませ。

食事・休憩

- 1) 事前に申し込まれた方には、1日目(8月24日)のご昼食としてお弁当(お茶付)をご用意しております。11:30以降に1号館1階受付横にてお受け取り下さい。
- 2) 会場内では、昼食を販売しておりません。ご昼食をご持参いただいた方は、1階101教室を休憩室としておりますので、ご利用ください。

ランチョンセミナー

ランチョンセミナーは、事務局に事前にお申込みください(限定60名)。お申し込みはメールでお願いします。事務局から受付の御連絡をさせていただきます。

懇 親 会

懇親会は、1日目(8月24日)18:30~20:00に、呉森沢ホテルにて開催いたします。参加費は5,000円です。当日に参加申し込みをされる方は、1号館1階「懇親会受付」にて、懇親会費5,000円をお支払の上、お申込みください。定員になり次第、申込みは終了いたします。

企業展示

1日目(8月24日)、2日目(8月25日)ともに、1階の101教室にて企業展示を行っております。

企画展示

原爆資料館より貴重な資料を20点程度展示させていただきます。場所は、第4会場(2階実習室)です。この機会にぜひご覧ください。

非 常 時

非常時の場合は、担当者の指示に従ってください。

発表者へのお知らせ

一般演題発表(口演)の方へ

- 1) 口演発表は、第2会場(3階 301教室)と第4会場(2階 201教室)で行います。看護学科玄関受付1階で演者受付を済ませた後、データ受付にて、パソコンに発表用データをインストールしてください。1日目(8月24日)に第1群、第2群で口演発表の方は当日14:10までに、第3群で口演発表の方は当日15:10までに、2日目(8月25日)に第4群で口演発表の方は当日9:30までにデータ受付をお済ませください。
各群開始5分前には、各会場内の次演者席に御着席ください。お預かりしたデータは発表終了後、学術集会事務局が責任を持って削除・消去いたします。
- 2) 発表時間は、1演題につき20分(発表15分、質疑応答5分)です。
- 3) 会場の発表用PCのOSは「Windows7」、使用するアプリケーションは「Microsoft PowerPoint 2013」です。また、Power Point ファイル作成にあたっては、Windows 標準フォント(MS明朝、MSP明朝、MSゴシック、MSPゴシック等)をご使用ください。その他のフォントでは、正しく表示されない場合がございます。
- 4) 発表データはUSBフラッシュメモリでご持参ください。お持込になるUSBフラッシュメモリのウイルスチェックは、各自、事前に行なってください。
- 5) 作成されたファイル名は「演題番号(発表者名)」(例:口演-1(○○△子))で保存してください。
- 6) 運営上、動画の使用など、特別なデータの作成はご遠慮ください。各発表につき、原則として1ファイルとさせていただきます。
- 7) 発表データは持ち込まれたファイル単体で動くようにしてください。外部ファイルとのリンクはできません。
- 8) 学術集会参加前に、必ず他のPCで動作の確認をしておいてください。発表データ受付での修正はできませんので、予めご了承ください。
- 9) 発表時のパソコン操作は、会場係の指示に従ってください。プレゼンテーション状態に設定した後のスライドの送り操作は、原則として発表者が行ってください。
- 10) 資料を配付される場合は、各自でご用意ください。会場での印刷はできません。

一般演題発表(示説)の方へ

- 1) 示説発表は、1日目(8月24日)に第1群、第2群、第3群は第5会場(2階実習室)で行います。2日目(8月25日)に第4群、第5群、第6群は第3会場(2階205教室)で行います。第7群、第8群、第9群は第5会場(2階実習室)で行います。
1階で演者受付を済ませ、下記4)の時間内に掲示をしてください。発表開始5分前に発表会場にお越しください。
- 2) 発表時間は、1演題につき15分(発表10分、質疑応答5分)です。
- 3) ポスターのサイズは、演題名・発表者名・共同発表者名・所属を含めて、縦180cm×横90cmに収まるように準備してください。演題番号と掲示のための画鋏、テープはこちらで用意します。
- 4) ポスター掲示は1日ごとの貼り替えです。下記の時間内にポスター掲示・撤去をしてください。

発表日	演題群	掲 示	発 表	撤 去
8月24日	第1, 2, 3群	10:00~12:40	13:10~14:25	15:00~17:00
8月25日	第4~9群	9:30~ 9:50	10:00~11:00	11:50~12:30

- 5) 資料を配付される場合は、予めご用意ください。会場での印刷はできません。
- 6) 発表者は、各群開始5分前にはポスターの前で待機をしてください。司会者の指示に従って発表と質疑応答をお願いいたします。
- 7) 原則としてポスターは、撤去時間になるまで掲示しておいてください。また、撤去時間以降に掲示されているポスターは、学術集会事務局の方で撤去させていただきます。

研究発表(口演・示説)座長の方へ

- 1) 座長の方は、担当される群の30分前までに看護学科玄関受付1階で座長受付をお済ませください。
- 2) ご担当の群の発表開始5分前に会場へおいでいただき、会場担当者と簡単な打合せを行ってください。
- 3) 口演は1演題20分(発表15分・質疑応答5分)、示説は1演題15分(発表10分・質疑応答5分)です。時間厳守をお願いいたします。
- 4) 演者の欠席が出た場合には、発表を繰り上げて進行をお願いいたします。

テーマセッション企画者の方へ

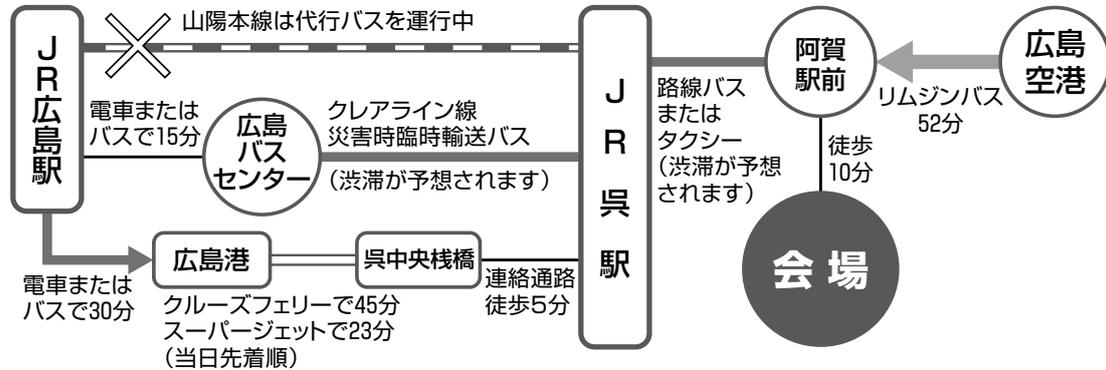
- 1) テーマセッションは1日目、第4会場(2階 201教室)で行います。発表者は、看護学科玄関受付1階で演者受付をお済ませの上、開始10分前には会場へおいでいただき、会場担当者と簡単な打合せを行ってください。
- 2) 発表データはUSBフラッシュメモリでご持参ください。お持込になるUSBフラッシュメモリのウイルスチェックは、各自、事前に行なってください。
- 3) プレゼンテーションソフトウェアにつきましては、一般演題発表(口演)と同様です。発表データは、直接会場のパソコンにインストールしてください。資料を配付される場合は、各自でご用意ください。
会場での印刷はできません。その他、ご使用になりたい機器や設備がある場合には、事前に事務局までお知らせください。
- 4) 会場設営・運営(進行)は、セッション企画者が行ってください。

理事会セッション企画者の方へ

- 1) 理事会セッションは、1日目は第1会場(3階 大講義室)と第3会場(2階 205教室)で、2日目は第1会場(3階 大講義室)で行います。発表者は、看護学科玄関受付1階で演者受付をお済ませの上、開始10分前に会場へおいでいただき、会場担当者と簡単な打合せを行ってください。
- 2) 発表データはUSBフラッシュメモリでご持参ください。お持込になるUSBフラッシュメモリのウイルスチェックは、各自、事前に行なってください。
- 3) プレゼンテーションソフトウェアにつきましては、一般演題発表(口演)と同様です。発表データは、直接会場のパソコンにインストールしてください。配布資料の印刷を希望される方は、1週間前までに事務局にお送りください。なお、白黒印刷のみとなります。会場での印刷はできません。その他、ご使用になりたい機器や設備がある場合には、事前に事務局までお知らせください。
- 4) 会場設営・運営(進行)は、セッション企画者が行ってください。

会場までのアクセス

7月6日の西日本豪雨災害に伴い公共交通機関が運休、ダイヤの乱れが生じています。
皆様方にはご不便をおかけします。下記のアクセスをご参照ください。



■飛行機をご利用の場合

呉⇄広島空港線 リムジンバス 呉駅前行 「阿賀駅前」バス停下車、徒歩約10分

■JRをご利用の場合

新幹線は運行しています。

山陽本線、広島駅から安芸阿賀駅間は運転とりやめ運休となっています。JR 代行バスの運行が始まりました。変更があるため利用される時には交通機関ホームページを確認してください。随時、日本看護歴史学会第32回学術集会のホームページにも情報を掲載してまいります。

■船をご利用の場合

広島港⇄呉⇄松山(愛媛) スーパージェットまたはクルーズフェリー

広島駅⇄広島港 バス、路面電車、随時運行

- 電車：広島電鉄5号線 広島港・宇品行 《電車乗り場 広島駅南口》
- バス：広島バス 21号線(21-1、21-2) 《バス乗り場 広島駅南口 3番のりば》
21-1号(宇品)線 御幸通り経由
21-2号(宇品)線 ベイシティ経由

■バス利用の場合

現在、広島バスセンター発 クレアラインが運休となっております。

広島～呉間の災害時臨時輸送バスが運行しています。

広島バスセンター⇄呉駅前(国道31号線経由)

●乗車場所：

広島発呉方面行…広島バスセンター6番ホームのみ

呉発広島方面行…呉駅前5番ホームのみ

●降車場所：

広島発呉方面行…呉駅前のみ

呉発広島方面行…市役所前、中電前、本通り、広島バスセンター

乗り換え、呉駅前⇄阿賀駅前

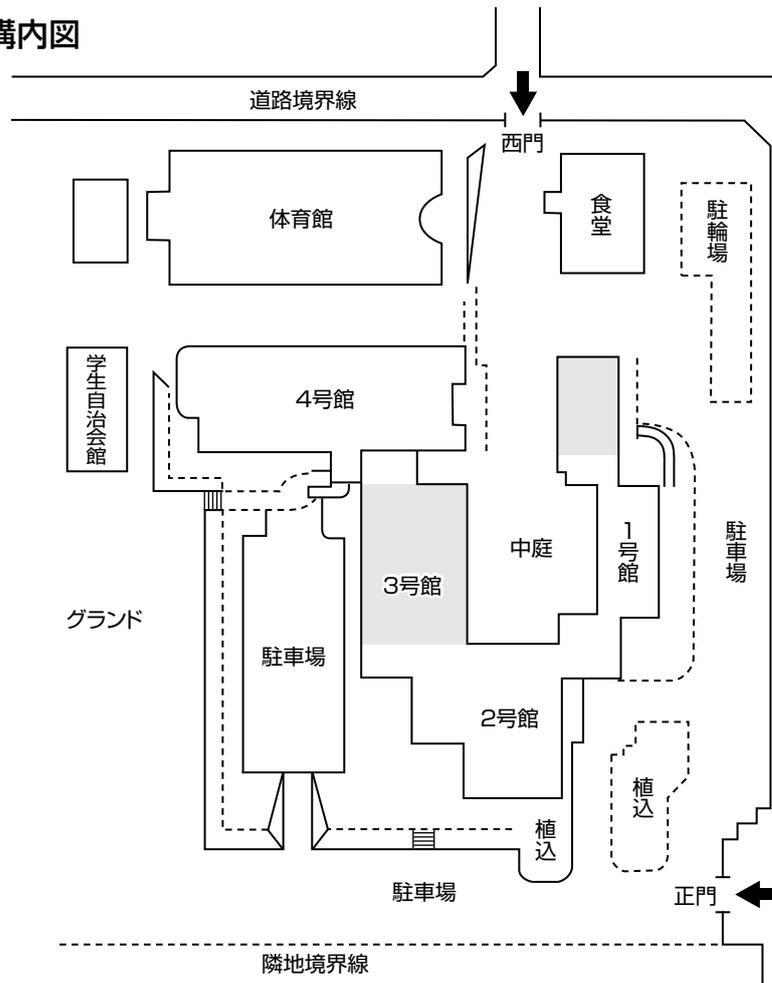
「阿賀駅前」バス停下車、徒歩約10分



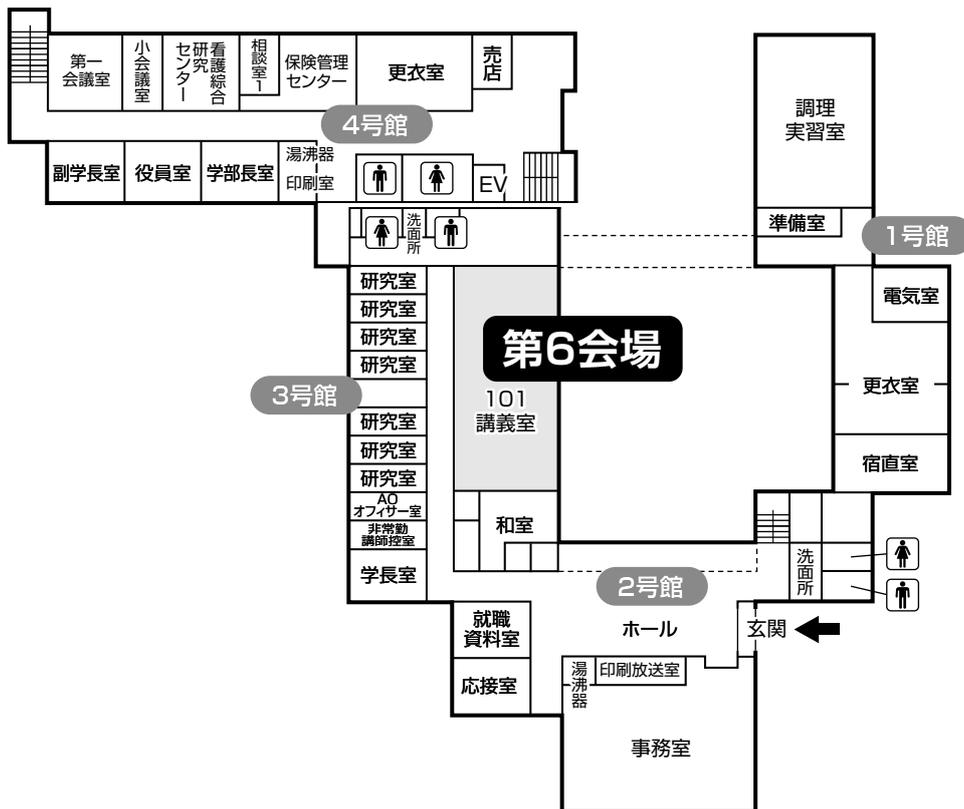
【会場住所】 広島文化学園大学 呉・阿賀キャンパス
〒737-0004 広島県呉市阿賀南2丁目10-3

会場案内図

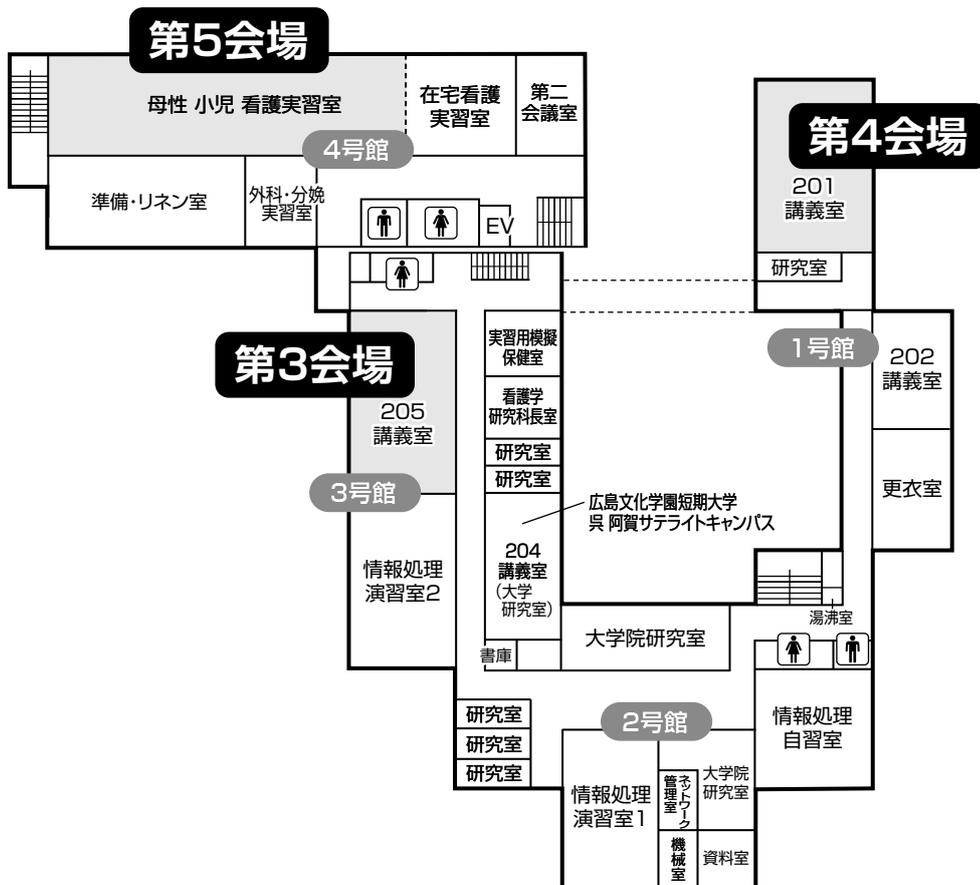
呉 阿賀キャンパス 構内図



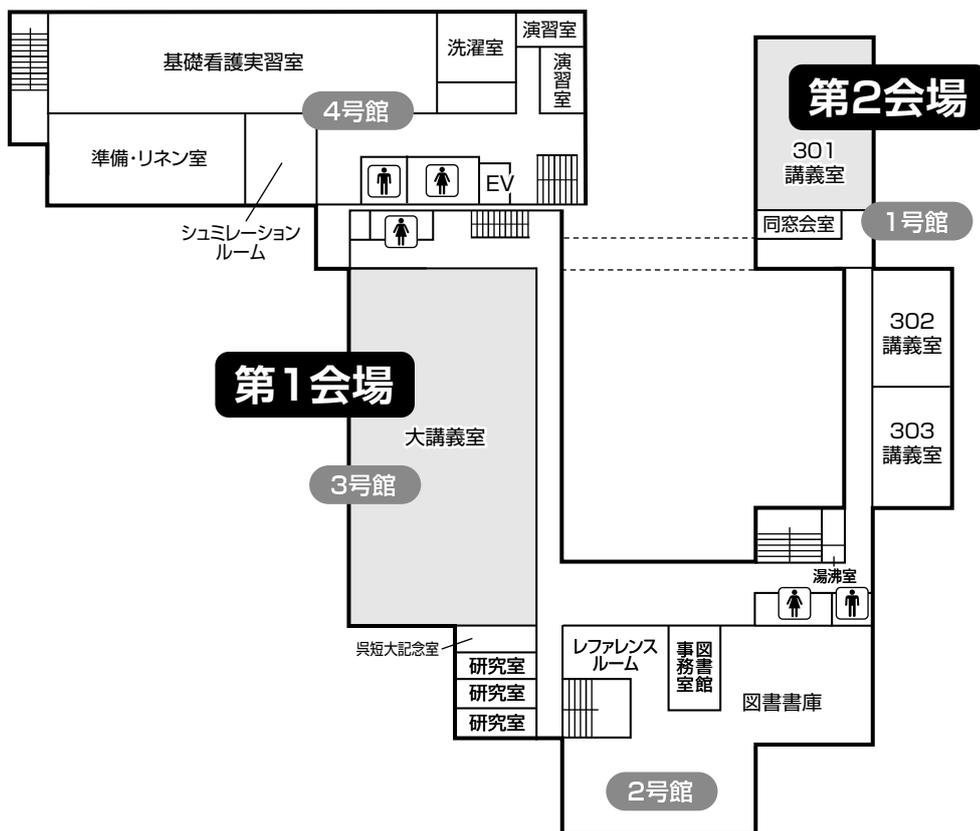
1F



2F



3F



1日目 8月24日金

	第1会場 3F 大講義室	第2会場 3F 301講義室	第3会場 2F 205講義室	第4会場 2F 201講義室	第5会場 2F 実習室	第6会場 1F 101講義室
9:30	9:30~ 受付開始					
10:00	10:00~10:30 学術集会オープニング (広島文化学園大学学芸学部 音楽学科)					10:00 ~ 17:00 企業 展 示 ・ 休 憩 所
	10:30~10:40 ご挨拶	森元 弘志様 川本 ひとみ様				
11:00	10:40~11:20 学術集会長講演 ナイチンゲール看護のこころ今に 伝えるー看護・福祉思想と教育ー 演者：佐々木 秀美 座長：川原 由佳里				11:00~15:30 パネル展示 原爆資料館より	
12:00	11:25~12:25 教育講演Ⅰ 看護の歴史パノラマから見え てくるものー看護史の古いス ライド(ICRC作)を手がかりにー 演者：眞壁 伍郎 座長：丸山 マサ美					
13:00			12:35~13:05 総 会	12:35~13:15 ランチョンセミナー 良質な睡眠について		
14:00	13:20~14:20 教育講演Ⅱ 長谷川保の看護・福祉思想と その精神(こころ)の継承 演者：平井 章 座長：塩谷 久子				13:10~14:25 示 説 1 群 座長：岡本 陽子 2 群 座長：田村 和恵 3 群 座長：林 君江	
15:00	14:30~15:30 教育講演Ⅲ 歴史と責任ー科学者・実践家は 歴史にどう責任を取るかー 演者：小笠原 道雄 座長：金子 潔子	14:30~15:30 口演1群 座長：小田 正枝	14:30~15:40 理事会セッション1 研究活動委員会企画 看護歴史研究4 看護思想史 ー19世紀以降の 科学・哲学・世界 思想と看護学ー	14:30~15:30 口演2群 座長：佐藤 敦子	パネル展示 原爆資料館より	
16:00	15:40~17:10 理事会セッション2 特別委員会企画 准看護師養成所における 教育の現状ー調査報告ー 話題提供者：伊東 美奈子 司会：城丸 瑞恵 佐藤 公美子	15:40~16:40 口演3群 座長：進藤 美樹	講師：川原 由佳里 司会：鈴木 紀子 丸山 マサ美	15:40~17:10 テーマセッション 直筆を通してこそわ かるナイチンゲール の実像 ーナイチンゲールの 8つの顔ー 演者：金井 一薫		
17:00						
18:00						
19:00	18:30~ 懇 親 会 (会場：呉森沢ホテル)					

2日目 8月25日(土)

	第1会場 3F 大講義室	第2会場 3F 301講義室	第3会場 2F 205講義室	第4会場 2F 201講義室	第5会場 2F 実習室	第6会場 1F 101講義室
9:30	9:30~ 受付開始					9:30 ↓ 12:45
10:00	10:00~11:00 教育講演Ⅳ 広島県における原爆医療の 歴史の変遷 演者：鎌田 七男 座長：藤村 龍子	10:00~11:00 口演4群 座長：迫田 千加子	10:00~11:00 示 説 4群 座長：山内 京子 5群 座長：今坂 鈴江 6群 座長：中井 芙美子		10:00~11:00 示 説 7群 座長：前信 由美 8群 座長：三上 れつ 9群 座長：浅香 真由巳	企 業 展 示 ・ 休 憩 所
11:00	11:10~12:40 理事会セッション 3 戦争と看護 —被爆の記憶を 風化させないために— 演者：村上 須賀子 岡田 恵美子 司会：川嶋 みどり				10:00~12:00 パネル展示 原爆資料館より	
12:00	12:40~12:45 次期学術集会長挨拶 ▲ 川原 由佳里					
13:00						

A series of horizontal dashed lines for writing.

学術集会長講演

ナイチンゲール看護のころ今に伝える —看護・福祉思想と教育—

佐々木 秀美

広島文化学園大学 看護学部・看護学研究科 教授

私は、看護師としての教育を受け、二十数年の看護実践を誠実に実践してきたつもり。煩雑に思いながらもなおかつ私自身が有する看護のあるべき姿を描きつつ、看護実践現場を改善しようと努力しようともしていた。が、提言むなしき、その継続性も極めて困難であり、そのための説得力を持たない私に大きく勇気を与えてくれた一冊が、ナイチンゲールの『看護覚え書』であった。その時、私は人生の中間地点であったが、学びなおしを始めた契機ともなったのがその著作である。著作のタイトルに続いて「What it is and What it is not」と書かれたその著作は、日常生活と健康との関係と、病気からの回復への手助けを如何にすべきかの示唆を与えようとしたものであった。著作についてナイチンゲールは「看護の考え方の法則を述べて看護婦が自分で看護を学べるようにしようとしたものでは決してないし、看護師に看護することを教えるための手引書ではない。」と述べ、「これは人の健康について直接責任を負っている女性たちに、考え方のヒントを与えたいという目的で書いた。」と述べている。しかし、その内容は看護について責任を担うべき看護師が最も知るべきであり、よい看護を構成する真の要素について探求すべき事柄の多くを含んでいた。「排泄物からの悪臭」はまさに私がベットサイドの環境問題に焦点を当てていた事柄と一致していた。1860年にこの著作を書いたナイチンゲールに驚嘆以外の感情は何も発せない衝撃を受けたという言い方は大げさではない。私の知り得るナイチンゲールは、「クリミアの天使」「看護教育の母」以外に何もなかったからである。

日本の看護は進歩したのか？ 後退したのか？ 100年以上も前により看護を構成する真の要素、即ち、健康の法則、即ち、看護の法則を発表したナイチンゲールについて改めて強い関心を持ったのはこの時からである。そして、私はまず、自身に教育・研究力をつけるべきだとの決意から、改めて教育学で学びを開始、ナイチンゲール研究を携えながら、「我が国の看護教育の歴史」に関する研究に着手、博士(教育学)の学位を取得した。

幸いにもナイチンゲールの著作は諸先輩方が翻訳され、その他、研究された論文も得ることが可能である。その目的は、温故知新であり、研究手法は、「我々は過去から受け継いだ遺産でしか未来を建設し得ない。」という社会学者デュルケム(Emile Durkheim 1858～1917)の『教育と社会学』からヒントを得ている。さらには、ナイチンゲールという人物の本質探求は、「人間が一つの目的に向かって行動するという事、その行動は目的を認識した上でのことであり、思考と行動が無関係ではない。」というプラグマティズム思想(Charles Sanders Pierce 1839～1914)からヒントを得ている。ゆえに、私のナイチンゲール研究の多くは、彼女が実際に行動(業績)として起こした事柄に焦点を当てて、彼女が何を認識(当時の社会的背景)し、何を考え、行動として起こしたのかという論点からの検証・検討である。さらに、研究を進めると彼女の改革の論点は、健康を主題としながら、地域福祉に視点を当てたとも考えられた。

「人は誰でも寄る辺なく野に辛酸をなめながらひとりさまようことがある。」というカサンドラでの一文もそうでしょう。知るほどに人間としての心の痛みが伝わってくる。新しきことを提唱する者の苦痛は誰にも理解されない。そこで私は、日本の看護の未来構築のために、ナイチンゲールの残した業績と共に、彼女が痛みを感じながら、一生を通して行った改革と、私たちに伝えたかったその心を、時間の許す限り、伝えていきたいと考える。その上で、看護の歴史探求に比類なき興味を持たれている方々の次の論点に新しい示唆が得られたら幸いである。

一般演題

口演

F. ナイチンゲールと愛蘭の修道会・修道女のかかわり その I

Irish Sisters of Charity & Sisters of Mercy on the letters

○細野 容子

I 目的

セシル・ウーダム・スミスは、その著書¹⁾で、F. ナイチンゲールが記したとされる「ダブリンで学んだ恐るべきこと」、「何一つ見るものはなかった」との言を紹介しています。F. ナイチンゲールはカイゼルスヴェルト・ディコネス協会に3ヶ月間滞在した後も、看護を学びたいと望んでいました。大英帝国のプロテスタントであるF. ナイチンゲールが、統治によってカトリックが酷く虐げられていた愛蘭の病院で学びたいとしているのは、**St. Vincent Hospital** でした。エドワード・クックの「ナイチンゲール-生涯と思想」²⁾は1913年に刊行され、1993年に日本語に翻訳されました。その中で「1852年、フローレンスは愛蘭を訪問してダブリンの病院をいくつか見学したが、いささか失望を感じたらしい」と記述しています。しかし病院の特定はしていません。他文献はクックの著書を基盤にしており、ダブリンの病院に触れていません。英語圏で修道女が初めて創設した **Irish Sister of Charity**(以後称:愛の姉妹会)の **St. Vincent Hospital** とF. ナイチンゲールのかかわり、次いでF. ナイチンゲールと愛蘭修道会や修道女のかかわりを明らかにしたいと文献調査をしましたのでその結果を一部報告します。

II 方法: 文献研究 以下は参考書籍数

- ① ナイチンゲール関連(日本語:4 翻訳:10, 英語:5)
- ② 愛蘭修道会・修道女(翻訳:2 英語:5) ③ 看護歴史(翻訳3:英語4)
- ④ 愛蘭・英国、宗教、社会等(日本語:5 翻訳:10)

III 結果

当時、ダブリンには修道女が、病む人やコレラ等の大流行時に患者を訪問する修道会がありました。英語圏でいち早く病院を建てたマザー・エイケンヘッドの愛の姉妹会と **Sister of Mercy** です。**Sister of Mercy** は **Catherine McAuley** が創設者です。**Catherine McAuley** はダブリンで生まれクエーカー教徒として育ち、両親亡き後は反カトリックの考えを持つ親戚との関係でカトリック教徒ではありませんでしたが、「敬虔な淑女たち」として、貧しい子どもたちや、働くための訓練をしている少女たちが病気になった時、家族を必要とする時等に必要とするものを供給していました。1827年にはマッコリー・ホームを設立しました。誓願に縛られる修道会になったのは、女性平信者集団の扱いがわからなかった司祭たちの勧めにもよりますが、修道院 **Sister of Mercy**(1827)が創設することになりました。また修道院は独立した運営形態でしたが、カトリックの教区司祭の助言を求めることができました。新たな土地に必要とされた、奉仕活動のために修道女を各地から呼び集め、愛蘭全土に広がりました。宗教改革後、イングランドで初めての女子修道院をロンドンに創立(1839)しました。その女子修道院院長は **Sister**

A series of horizontal dashed lines for writing.

日本看護歴史学会 大会・学術集会開催状況

	大会テーマおよび大会長・学術集会長	会 場 開催日
第1回	「日本看護歴史学会創立」 代表幹事：亀山 美知子	京都市立看護短期大学 1987(昭62)年8月26日
第2回	「近代看護婦発祥100年記念」 代表幹事：亀山 美知子	日本赤十字看護大学 1988(昭63)年8月20・21日
第3回	「看護歴史を学ぶ」 代表幹事：亀山 美知子	京都市立看護短期大学 1989(平元)年8月19・20日
第4回	「歴史研究の基礎と実践」 代表幹事：亀山 美知子	日本赤十字看護大学 1990(平2)年8月18・19日
第5回	「保健婦規則制定50年記念」 代表幹事：亀山 美知子	国立名古屋病院 1991(平3)年8月24・25日
第6回	「歴史研究の学問的アプローチ」 代表幹事：亀山 美知子	東京都女性情報センター 1992(平4)年8月22・23日
第7回	「医制120年 産婆制度を考える」 代表幹事：亀山 美知子	神戸市勤労会館 1993(平5)年8月28・29日
第8回	「今あらためて看護教育の歴史を振り返る」 代表幹事：亀山 美知子	東京大学山上会館 1994(平6)年8月19・20日
第9回	「戦後50年 看護改革の行方」 代表幹事：亀山 美知子	京都市女性総合センター「ウィングス・京都」 1995(平7)年8月5・6日
第10回	「歴史に見る女と男」 代表幹事：亀山 美知子	山形市・遊学館 1996(平8)年8月23・24日
第11回	「保健婦助産婦看護婦法制定50年記念」 代表幹事：亀山 美知子	京都大学会館 1997(平9)年8月23・24日
第12回	「戦後看護教育の検証」 代表幹事：亀山 美知子	大分県青少年会館 1998(平10)年8月7・8日
第13回	「世紀を越えて、看護の未来」 代表幹事：亀山 美知子	大阪府教育会館たかつガーデン 1999(平11)年8月30・31日
第14回	「21世紀への宿題 ～歴史に見る看護の智慧」 大会長：山本 捷子	秋田県生涯学修センター分館ジョイナス 2000(平12)年8月23・24日
第15回	「看護史をひろげる」 大会長：大平 政子	名古屋市立大学 2001(平13)年8月24・25日
第16回	「日本と世界の歴史を探求する —現代看護の源泉への探訪—」 大会長：高橋 みや子	山形県立保健医療大学 2002(平14)年8月31日・9月1日
第17回	「看取りの文化、古代から現代へ」 大会長：Ryder 島崎 玲子	青森県立保健大学 2003(平15)年9月5・6日

	大会テーマおよび大会長・学術集会長	会場 開催日
第18回	「歴史に学ぶ・歴史を創る」 大会長：岡崎 寿美子	北里大学 2004(平16)年8月25・26日
第19回	「学校史を発掘する —高等教育の源流から看護学教育の歴史的省察を—」 学術集会長：藤村 龍子	東海大学 2005(平17)年8月27・28日
第20回	「歴史を拓く —看護教育120年を未来へ繋ぐ—」 学術集会長：芳賀 佐和子	東京慈恵会医科大学 2006(平18)年8月25・26日
第21回	「歴史から学ぶ看護のこころ —仏教系の看護婦養成と近代的看護教育—」 学術集会長：福本 恵	京都府立医科大学 2007(平19)年9月1・2日
第22回	「歴史の中に生きる看護の心」 学術集会長：丸山 マサ美	九州大学医学部百年講堂 2008(平20)年8月27・28日
第23回	「戦前戦後の看護の礎 —看護教育と実践の発展をさぐる—」 学術集会長：内田 椰子	聖路加看護大学 2009(平21)年8月19・20日
第24回	「今、実学を問う —歴史にみる看護教育実践活動—」 学術集会長：三上 れつ	慶應義塾大学 2010(平22)年9月19・20日
第25回	「歴史を掘りおこし 明日の看護を拓く」 学術集会長：仲里 幸子	沖縄県立看護大学 2011(平23)年8月26・27日
第26回	「災害の教訓から改革へ —私たちは何を伝えるべきか—」 学術集会長：川嶋 みどり	日本赤十字看護大学 2012(平24)年8月26・27日
第27回	「京都発、近現代における看護の礎を探る」 学術集会長：岡山 寧子	京都府立医科大学 2013(平25)年8月31日・9月1日
第28回	「今、語りつぐ看護技術の教育」 学術集会長：滝内 隆子	岐阜大学 2014(平26)年9月6・7日
第29回	「歴史学の可能性と未来 —空間と時間を越えて—」 学術集会長：城丸 瑞恵	札幌医科大学 2015(平27)年8月22・23日
第30回	「看護基礎教育での看護歴史教育の必要性 —看護医療の差別の歴史をどう教えるか—」 学術集会長：日下 修一	聖徳大学 2016年(平28)年8月20・21日
第31回	「看護の政策過程の検証 —歴史から看護のエビデンスを探る—」 学術集会長：田中 幸子	東京慈恵会医科大学 2017(平29)年8月18・19日
第32回	「ナイチンゲール看護のこころ今に伝える —看護・福祉思想と教育—」 学術集会長：佐々木 秀美	広島文化学園大学 2018(平30)年8月24・25日

第32回学術集会 企画委員・運営委員・実行委員

(敬称略)

学術集会長 佐々木秀美 広島文化学園大学 看護学研究科

企画委員 丸山マサ美 九州大学大学院
鈴木 紀子 順天堂大学 医学部医史学研究室
城丸 瑞恵 札幌医科大学 保健医療学部
佐藤公美子 札幌医科大学 保健医療学部
川嶋みどり 日本赤十字看護大学

運営委員 加藤 重子 広島文化学園大学 看護学部看護学科
岡田 京子 広島文化学園大学 看護学部看護学科
進藤 美樹 広島文化学園大学 看護学部看護学科
金澤 寛 広島文化学園大学 看護学部看護学科
田村 和恵 広島文化学園大学 看護学部看護学科
佐藤 敦子 広島文化学園大学 看護学部看護学科
前信 由美 広島文化学園大学 看護学部看護学科
林 君江 広島文化学園大学 看護学部看護学科
浅香真由巳 広島文化学園大学 看護学部看護学科
今坂 鈴江 広島文化学園大学 看護学部看護学科
風間 栄子 広島文化学園大学 看護学部看護学科
迫田千加子 広島文化学園大学 看護学部看護学科
上野 理恵 広島文化学園大学 看護学部看護学科
岡本 陽子 広島文化学園大学 看護学研究科

実行委員 山田 晃子 広島文化学園大学 看護学部看護学科
石川 孝則 広島文化学園大学 看護学部看護学科
藤尾 順子 広島文化学園大学 看護学部看護学科
上林 聡子 広島文化学園大学 看護学部看護学科
空本 恵美 広島文化学園大学 看護学部看護学科
高橋登志枝 広島文化学園大学 看護学部看護学科
上田ゆかり 広島文化学園大学 看護学部看護学科
中井芙美子 広島都市学園大学 健康科学部看護学科
秋山 智 広島国際大学 看護学部看護学科
岡本 裕子 広島国際大学 看護学部看護学科
棟久 恭子 獨協医科大学 看護学部

日本看護歴史学会第32回学術集会 ご支援をいただいた企業一覧

本学会学術集会には、以下の企業からご支援をいただきました。
ここに記して、厚く御礼を申し上げます。

企業展示

(五十音順)

伊勢パールセンター

株式会社 神陵文庫

東洋羽毛中四国販売株式会社 広島営業所

広告協賛

(五十音順)

伊勢パールセンター

株式会社 紀伊國屋書店広島営業所

東洋羽毛中四国販売株式会社 広島営業所

有限会社 平原商会

レールダルメディカルジャパン株式会社

日本看護歴史学会第32回学術集会 講演集

2018年7月30日発行

編 集：日本看護歴史学会第32回学術集会 企画・運営委員会

発行責任者：日本看護歴史学会第32回学術集会学術集会長 佐々木 秀美

広島文化学園大学看護学部

〒737-0004 広島県呉市阿賀南2丁目10-3

TEL：0823-74-6000

E-mail：kangorekishi32@hbg.ac.jp

学会 HP：http://jsnh32.umin.jp/

出 版：株式会社セカンド

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025

http://www.secand.jp/

